

グリーン物流推進のための新たな提案

## 31フィートコンテナによるシャトル列車構想

JR貨物と鉄道利用運送業界による共同プロジェクト

社団法人 全国通運連盟



エコくん



## モーダルシフトの担い手として お客様に選ばれる輸送機関を目指して

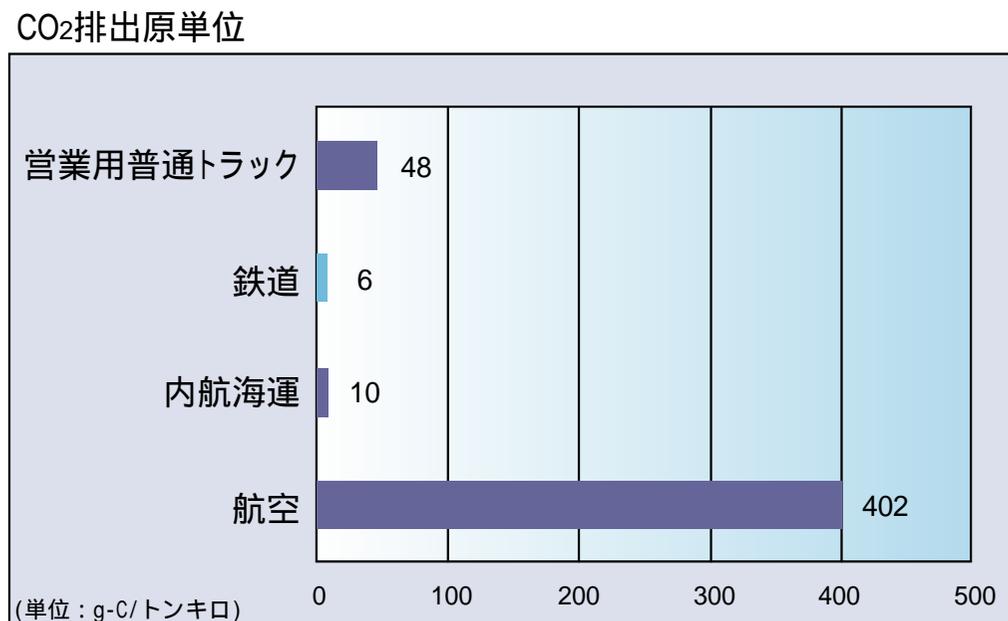
- モーダルシフトの担い手として、鉄道輸送の優れた環境特性を生かし、鉄道を利用したドア・ツー・ドアの複合一貫輸送を推進
- JR貨物と協力して、お客様に選ばれる輸送機関を目指して、利便性、品質、コスト等の商品力の改善を推進





## 鉄道貨物輸送のメリット

- CO<sub>2</sub>排出量が最も少ない輸送機関です
- 中長距離輸送で優れたコストメリットを発揮します
- 定時運行に優れた輸送機関です
- 高い安全性と安定性を確保します
- コンテナは小さな倉庫です。最大10日間発着駅で無料保管





## 鉄道貨物輸送の認知度と関心の向上

- 地球温暖化対策への対応が急務となる中で、鉄道貨物輸送のメリットをご理解いただくために、【お試し輸送】とともに【利用促進キャンペーン】を展開
- 従来50%未満の鉄道貨物輸送の認知度が、最近では75%までに向上  
(キャンペーンでのアンケート結果)
- 鉄道貨物輸送をご利用中、ご利用を検討中の方々が、最近では25%に向上  
(キャンペーンでのアンケート結果)



## お試し輸送によるご利用促進

ご利用ご検討のお客様の「初回試験輸送」の基本費用を負担

- 輸送品質の事前確認により、安心してご利用を開始できます
  - 積み付け、荷卸し状況の確認
  - 荷傷みの有無
  - 輸配送時間
- 近年のご利用状況

年度	ご利用件数	コンテナ個数
平成12年度	18	38
平成13年度	46	80
平成14年度	61	106
平成15年度	89	165
平成16年度	98	178

- お試し輸送後6割以上のお客様が継続してご利用



## 国土交通省【実証実験】補助制度により モーダルシフトはかけ声から現実へ

	認定件数	CO2削減量 (計画)	鉄道へのシフト内訳	
		t-CO2	件数	CO2削減量 t-CO2
14年度	7	23,606	4	18,721
15年度	35	35,656	30	30,385
16年度	32	33,594	22	21,345
合計	74	92,856	56	70,451

- 3年間で74件の認定のうち、56件76%が鉄道へのモーダルシフト
- 従来鉄道利用が少なかった品目、区間でもシフトが成立
- 鉄道シフト56件中24件40%が31フィートコンテナを利用したモーダルシフト



## 31フィートコンテナのメリット



- 大型トラックと同様の使い勝手【大型トラックの荷台と同規格・同機能】
- ➡ 出入荷システムを変更せずにシフト可能
- ➡ 出荷ロットを変更せずにシフト可能【11パレット16枚】
- ➡ 荷役方法も同一
- ➡ かさ高貨物の場合、従来の鉄道12フィートコンテナ3個分に対応

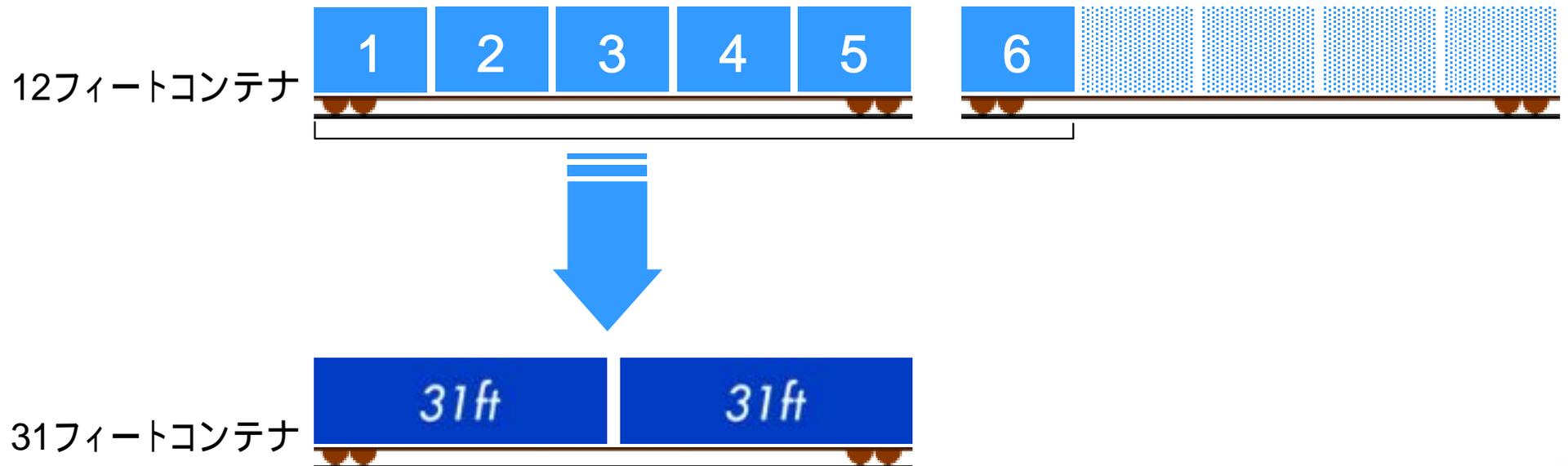


## 31フィートコンテナのメリット

《鉄道輸送力も有効活用》

【鉄道貨車1両に31フィート2個積載。12フィートは5個積載】

➡ かさ高貨物の場合、1両当たり12フィート6個に相当





## 31フィートコンテナのメリット

《専用荷役機器**トップリフター**による安全・安心な荷役》

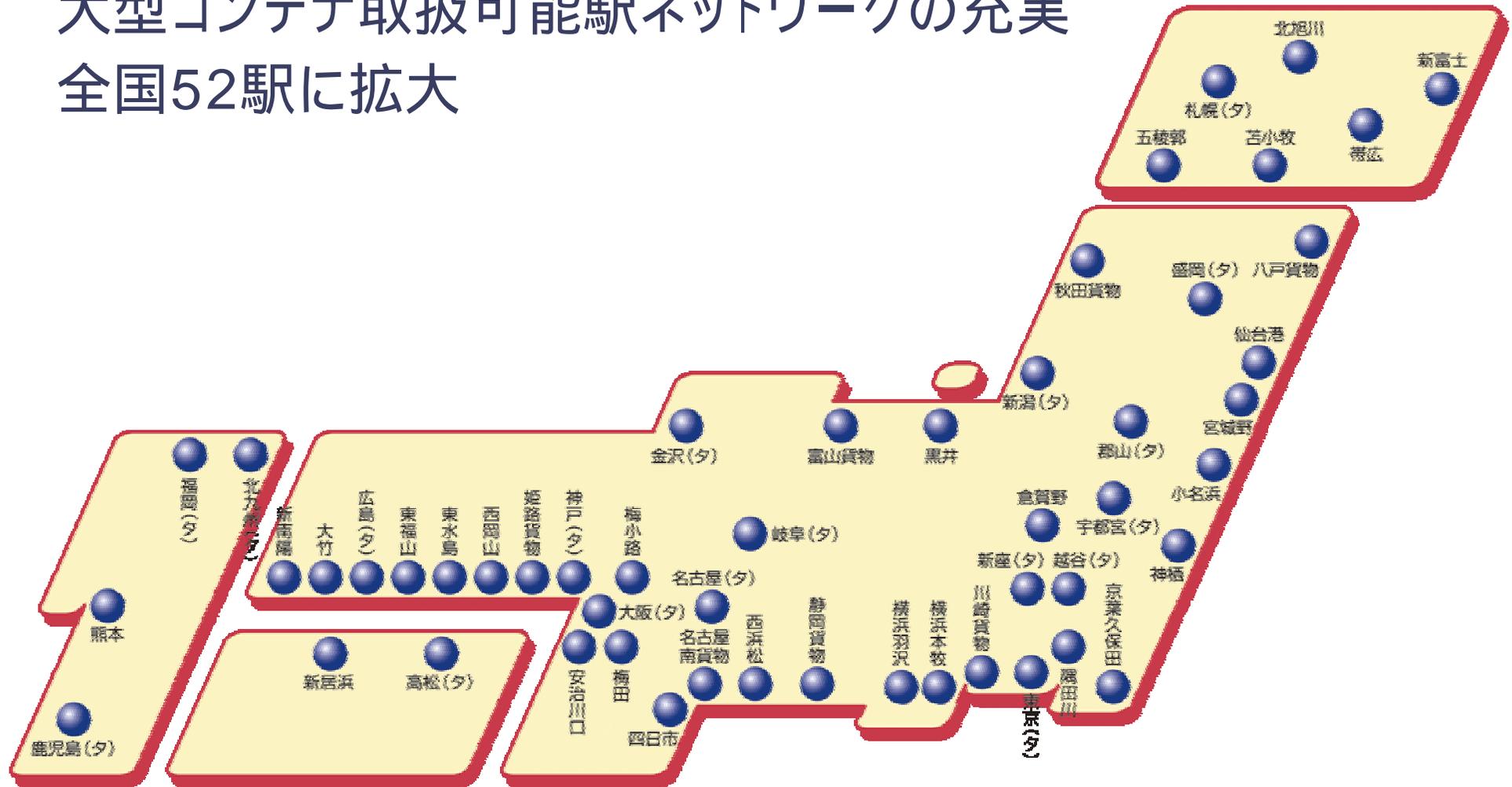


もっとエコに。もっと便利に。



# JR貨物

## 大型コンテナ取扱可能駅ネットワークの充実 全国52駅に拡大





## 全国通運連盟

### 31フィート等大型高規格コンテナの導入促進支援制度の創設

- 大型コンテナの全国ネットワーク構築に向け会員事業者の設備・運用の促進を支援

平成16年度促進状況	
導入個数	175個
ご利用荷主様数	約30社
主要な運用区間数	25区間
CO <sub>2</sub> 削減量(計画)	約24千トン

(参考)

- 31フィート級コンテナの個数・・・16年度始め時点で1,000個余り



## 多くのお客様のご利用を可能にする新たなご提案 31フィートコンテナによるシャトル列車

### スーパーグリーン・シャトル列車構想

#### 《ご提案の趣旨》

- 物流のグリーン化を目指す多くのお客様のために、幅広く31フィートコンテナのメリットを享受していただき、CO<sub>2</sub>削減に大きく寄与していく、便利で効率的なシステムを構築
  - そのために、JR貨物と鉄道利用運送業界が協力して、具体化に向け検討
- ➡ 新たな利便性の高いシャトル列車の設定による輸送力確保
  - ➡ シャトル列車専用の31フィートコンテナの便利で効率的な運用システム
  - ➡ 多くのお客様がオープン参加でわかりやすくご利用できるシステム



## 31フィートコンテナによるシャトル列車

### スーパーグリーン・シャトル列車構想

#### 《基本構想：その1》

物流の大動脈の2地点間に新たに利便性の高い  
31フィートコンテナ用列車の設定を検討

- 31フィートウィングコンテナ(一般貨物用)
- 中堅の荷主様を含む多数のお客様のご利用
- 物流の大動脈で施策効果が期待できる二大都市圏間を専用列車がシャトル運用
- 夜間発 早朝着で朝一番での配達が可能ダイヤ



## 31フィートコンテナによるシャトル列車

### スーパーグリーン・シャトル列車構想

#### 《基本構想：その2》

専用列車用の31フィートコンテナを鉄道利用運送業界がプールし、多数のお客様のご利用に資するような運用システムを検討

- 鉄道利用運送業界がコンテナを一括設備導入
- 多数のお客様のオープン参加が可能な簡便で分かりやすい利用システム
- 週1回からのご利用も可能
- 複数のお客様によるコンテナの共同利用も可能



## 31フィートコンテナによるシャトル列車

### スーパーグリーン・シャトル列車構想

#### 《基本構想：その3》

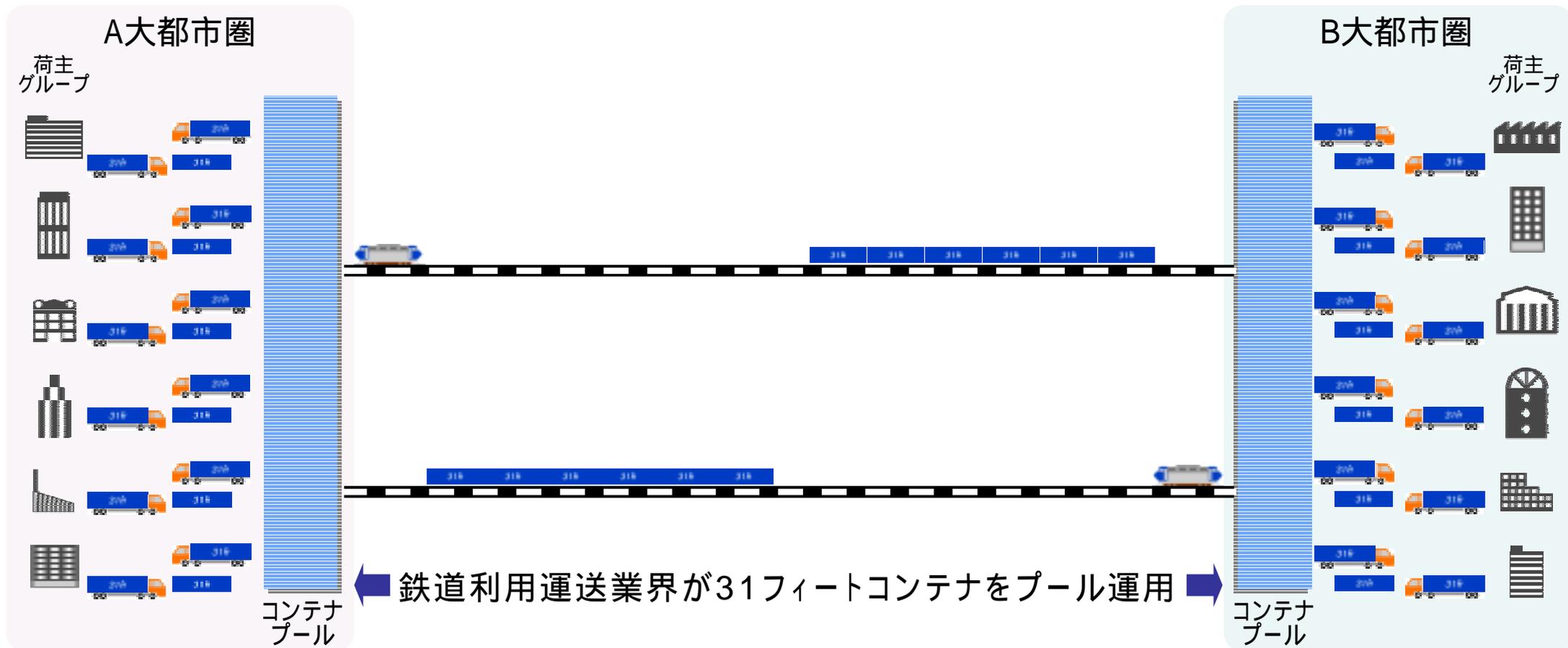
ご利用を希望されるお客様のために試験輸送の実施を検討

- ご利用のための事前検証とコンサルティング



# 31フィートコンテナによるシャトル列車

## スーパーグリーン・シャトル列車構想





## 31フィートコンテナによるシャトル列車

### スーパーグリーン・シャトル列車構想

具体化に向けて

- 鉄道利用運送業界とJR貨物で具体化のための推進協議会を設置
  - ➡ シャトル列車の設定、運用方式の検討
  - ➡ コンテナの保有運用方式と利用システムの検討



お客様とのパートナーシップのもとにニーズを吸い上げ  
効率的で利便性の高い  
31フィートコンテナシャトル列車のご利用システムを構築

多数のお客様のご参加とご利用を期待



皆様と共に31フィートコンテナによる  
シャトル列車構想を推進します

ご相談・ご要望は -  
社団法人 全国通運連盟まで